



林 雅也

ソフトクリエイティブホールディングス
取締役副社長

経済同友会 つながる▶▶

リレートーク #247

4月を迎えて思うこと



平岡 昭良
日本ユニシス
取締役社長

社会人になって39回目の4月を迎えた。毎年4月を迎えるとワクワクしてくる性分
のようだ。学生時代には、唯一宿題のない春休み、新学期や新しい学友との出会いに
夢を膨らませた。社会人になっても、転勤や異動を繰り返し、失敗を重ねながらも、
毎年ワクワクした4月を迎えることができていたように思える。

3年前の4月、社長に就任した。それ以来、毎年の節目に全社員に対して出すメッ
セージで、社員をワクワクさせようと心に決めている。不確実性の高い時代を生きる
私たちにとって、ワクワクする希望を持てる未来を描くことが何より大切だと思うか
らだ。これまでの社員へのメッセージを振り返ってみた。

2016年4月 今、変革の時、挑戦しているものだけが未来を変えることができる

2017年1月 自ら破壊を起こしていこう

2017年4月 マネジメント・イノベーションの新たなステージへ

2018年1月 企業の存在価値を「社会課題解決」へ

2018年4月 Try Fast Fail Fast Learn Quickly! ルールより意識で変わった会社は強い

2019年1月 「志」を持ち、続ける勇気を持って行動しよう

2019年4月 「共に未来を創る」という誇りを胸にBe Proud - We make new history
さて、私の「志」は、社員に伝わっているだろうか。昨年の4月のメッセージでは、
「今年の平岡は暴れます」と猛獣の写真付きで宣言してみたのだが、それを聞いた、
某役員が「暴れる前に麻醉でも打った方がいいのでは」とつぶやいたとか…。

なんと数日後に盲腸で入院、本当に麻醉を打たれてしまった。こんな楽しい掛け合
いを、役員や社員とできる自分は、幸せだと思う。楽しみやワクワク感や希望は、人
を動かす原動力になる。そして、そのような原動力を得て、情熱を持って動き始めた
人の力は限りなく大きいし、人にはその力があると信じている。

これからも「志」を持ち、「成功のKPIは失敗の数」と開き直りながらも、社員と共
に、あくなきチャレンジを追求していきたい。

▶▶ 次回リレートーク

大谷 邦夫

ニチレイ
取締役会長